

平成24年度運転士の 「事故0」項目は「入換え運転」!

4月の運転士訓練で訓練担当の指導助役から平成24年度の「事故0」項目が「入換え運転」と周知されました。

何故項目が「入換え運転」に設定されたのかは、平成23年度の運転事故に「入換え運転」における事故が多発し、内容上も問題であるということから設定されたそうです。

それぞれの「入換え運転」における事故の内容はブレーキ時機を逸した事象や制限速度オーバーといった事象です。会社は「入換え運転」について、通常のATCによる運転と比べて「保安度が低下する」「有視界運転の重要度が大きい」と分析しています。

全くその通りで「入換え運転」は「運転士の注意力」のみによる運転のため「前方注視」に努め「停止ブレーキ」に専念し、また「制限速度オーバー」しないよう「速度計」と「前方注視」に集中しなければなりません。

しかしながら会社はそれだけ「入換え運転」は危険で事故が起こりやすいと認識しつつも依然と「入換え運転中」の「停車通過の確認喚呼」（前方から視線を外し、目線を行路票に移し行路票を指なぞりする行為）と「庫内での添乗報告」に関しては省略するとは考えていません。

前方注視を妨げる動作の強要は止めろ!

会社自ら「入換え運転」について「保安度低下」「有視界運転の重要度」とし危険と認めながらあえて「前方注視」を妨げる行為の「停車通過の確認喚呼」、「運転に集中できない行為」の「庫内での添乗報告」を強制するのは本末転倒・矛盾しています。

会社自ら「入換え運転」の「事故0」を目標とするなら
危険の要因「停車通過の確認喚呼」「庫内での添乗報告」
を廃止しなければまらない!!